

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社オプナス部品工場新築工事	階数	1
建設地	埼玉県秩父市	構造	S造
用途地域	工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	0人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,400時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年8月 予定	評価の実施日	2021年12月14日
敷地面積	20,848 m ²	作成者	高野 浩
建築面積	4,940 m ²	確認日	
延床面積	4,940 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.3 ★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 1.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 1.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.0

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.6

3 設計上の配慮事項		
総合	建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化をすることで、建築物を運用する際に発生するエネルギー消費を低減させる取り組みを行っている。	
その他		
Q1 室内環境	告示対象外 F★★★★の建材をほぼ全面的に採用することで、空気質環境に配慮している。	Q2 サービス性能
LR1 エネルギー	断熱材により建物外皮の熱負荷抑制に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内)
		LR2 資源・マテリアル
		LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
株式会社オプナス部品工場新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質						1.7	
Q1 室内環境			0.30			1.8			
1 音環境		1.8	0.15			1.8			
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40						
1.2 遮音		1.0	0.40						
1 開口部遮音性能		1.0	0.60						
2 界壁遮音性能		1.0	0.40						
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音		1.0	0.20						
2 温熱環境		1.3	0.35			1.3			
2.1 室温制御		1.7	0.50						
1 室温		3.0	0.38						
2 外皮性能		1.0	0.25						
3 ゾーン別制御性		1.0	0.38						
2.2 湿度制御		1.0	0.20						
2.3 空調方式		1.0	0.30						
3 光・視環境		1.3	0.25			1.3			
3.1 昼光利用		1.8	0.30						
1 昼光率		1.0	0.60						
2 方位別開口									
3 昼光利用設備		3.0	0.40						
3.2 グレア対策		1.0	0.30						
1 昼光制御		1.0	1.00						
3.3 照度		2.0	0.15						
3.4 照明制御		1.0	0.25						
4 空気質環境		2.9	0.25			2.9			
4.1 発生源対策		4.0	0.50						
1 化学汚染物質	告示対象外F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用	4.0	1.00						
4.2 換気		2.3	0.30						
1 換気量		3.0	0.33						
2 自然換気性能		3.0	0.33						
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33						
4.3 運用管理		1.0	0.20						
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50						
2 喫煙の制御		1.0	0.50						
Q2 サービス性能			0.30			2.8			
1 機能性		2.5	0.40			2.5			
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40						
1 広さ・収納性	一人当たりの執務スペースが12㎡以上	5.0	0.33						
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33						
3 バリアフリー計画		3.0	0.33						
1.2 心理性・快適性		2.0	0.30						
1 広さ感・景観		3.0	0.33						
2 リフレッシュスペース		2.0	0.33						
3 内装計画		1.0	0.33						
1.3 維持管理		2.5	0.30						
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50						
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50						
2 耐用性・信頼性		2.6	0.30			2.6			
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50						
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80						
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20						
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30						
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		1.0	0.10						
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の、2種類以上に硬質塩化ビニール管を使用。	5.0	0.20						
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20						
2.4 信頼性		1.4	0.20						
1 空調・換気設備		1.0	0.20						
2 給排水・衛生設備		1.0	0.20						
3 電気設備		1.0	0.20						
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20						
5 通信・情報設備		1.0	0.20						

3 対応性・更新性			3.2	0.30				3.2
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30				
1 階高のゆとり			-	-				
2 空間の形状・自由さ		工場、事務所において、広い空間で作業できる。	5.0	1.00				
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30				
3.3 設備の更新性			2.2	0.40				
1 空調配管の更新性			3.0	0.20				
2 給排水管の更新性			1.0	0.20				
3 電気配線の更新性			3.0	0.10				
4 通信配線の更新性			3.0	0.10				
5 設備機器の更新性			1.0	0.20				
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20				
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40				1.0
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30				1.0
2 まちなみ・景観への配慮			1.0	0.40				1.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.0	0.30				1.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			1.0	0.50				
3.2 敷地内温熱環境の向上			1.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性				-				2.9
LR1 エネルギー			-	0.40				3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		[BPI][BPI _m] = 0.51	5.0	0.20				5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10				3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.76	3.4	0.50				3.4
4 効率的運用			2.0	0.20				2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00				
4.1 モニタリング			3.0	0.50				
4.2 運用管理体制			1.0	0.50				
集合住宅の評価								
4.1 モニタリング								
4.2 運用管理体制								
LR2 資源・マテリアル			-	0.30				2.5
1 水資源保護			2.2	0.20				2.2
1.1 節水			1.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60				
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70				
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30				
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60				2.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11				
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.22				
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.22				
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20				3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30				
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70				
1 消火剤			-	-				
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50				
3 冷媒			3.0	0.50				
LR3 敷地外環境			-	0.30				2.6
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が参考値に対して83%	3.4	0.33				3.4
2 地域環境への配慮			1.8	0.33				1.8
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善			1.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25				
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25				
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25				
3 交通負荷抑制			3.0	0.25				
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25				
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33				2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40				
1 騒音			3.0	1.00				
2 振動			-	-				
3 悪臭			-	-				
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40				
1 風害の抑制			3.0	0.70				
2 砂塵の抑制			-	-				
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30				
3.3 光害の抑制			1.6	0.20				
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70				
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30				

CASBEE埼玉県 重点項目シート










■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	株式会社オプナス部品工場新築工	BEE	0.3	BEEランク	★
------	-----------------	-----	-----	--------	---

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.4	+	1.0	=	4.4 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.4
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.4
<配慮した内容を記述>			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	1.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	1.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	1.0
<配慮した内容を記述>			

:入力欄